

一般質問



徳田 議員

○国土強靱化地域計画について

質 前回、南海トラフ巨大地震へのバックアップ計画が盛り込めるか検討したいとのことであったが。

政策企画課長 現在のところ、県からの要請に基づいて動くことを考えており、基本目標からは外させていたいただきたいと考えています。

質 民間と国のLPG基地があるが、他県へのバックアップのため福島大橋の上部工に対する耐震補強工事は行われるようであるが、下部工の耐震補強調査はないのか。

建設課長 県によると、耐震化に必要な調査をしてから実施すべき対策をとっていくと聞いています。

質 今年の長崎県要望で福島大橋は歩道付きの改良計画で要望してあるが、基礎工が持つのか。

建設課長 確かに幅員を広げるところには大きな課題があるかと思いますが、今現在、私たちが困っているという状況では、当然そこを訴え続けていきたいと思っています。

○肉用牛生産体制の強化について

質 以前、市長は前市長の考えを引き継ぎながら肉用牛生産体制の強化に努めたいと答えられている。新型

コロナウイルス発生前と後の価格差はどうなっているか。

農林課長 昨年との比較が可能な3月期と5月期で申しますと、3月期の去勢牛の減少額は14万9797円、減少率17・5%、雌牛の減少額は13万6682円、減少率19・09%です。5月期の去勢牛の減少額は13万3818円、減少率16・57%、雌牛の減少額は13万5661円、減少率19・5%です。

質 価格低迷の折、新型コロナウイルス終息後を見据えて、1000頭増頭に向け雌牛を繁殖牛として保留させる考えはありませんか。

農林課長 本市では肉用牛生産体制の強化策として、平成19年度から松浦市母牛増頭事業（1000頭増頭事業）を実施しています。その後、松浦産長崎和牛産地形成推進事業において、優良雌牛群の造成及び品質向上による繁殖牛の産地化を目指して増頭を進めています。事業化を始めたときには1745頭の雌牛でしたが、昨年度は2180頭にまで増頭しています。今後も国県事業の活用を含めて増頭事業を進め、繁殖雌牛群の産地化を目指していきたいと考えています。

このほかに、「学校跡地の活用について」と「人事評価制度について」質問しています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

〔議案〕令和2年度松浦市一般会計予算（第3号）（関係分）

（歳入）補正予算の金額9億9068万8000円で補正後の予算総額234億1078万3000円が議決されました。

このうち、国、県からの松浦市への交付金が6億4945万3000円、基金繰入金金が3117万9000円、市債3億210万円、その他795万6000円となっています。（歳出）歳出の多くが4月の人事異動に伴う諸経費の増減であり、新型コロナウイルス感染症関連による、テレビ会議用のパソコン・ウェブカメラ導入に90万円が計上されました。また、原子力災害対策事業費補助金においては、原子力災害時避難円滑化モデル実証事業として、避難道路、ヘリポート等の整備に必要な適地調査費（測量調査・実施設計等に要する経費）が計上されました。この事業は、主に離島に実施予定となります。

文教厚生委員会

〔議案〕令和2年度松浦市一般会計予算（第3号）（関係分）

小・中学校ICT整備事業（GIGAスクール構想）のネットワーク環境施設整備委託料及び備品購入費に1億3195万2000円が計上されました。これは、国がこれまでに進めてきたICT教育への活用促進策を更に強力に推進するため、令和元年12月の閣議決定に基づき令和2年度から令和5年度までに、全国全ての学校に児童生徒1人1台の情報端末と高速大容量通信ネットワーキ接続を提供することを旨とする構想です。財源としては、通信ネットワーク整備事業については、国庫補助50%、地方債45%、一般財源5%、また、端末整備事業については、児童生徒の3分の2までの台数を上限に、1台当たり定額4万5000円まで国庫補助になっています。今後のスケジュールとしては、ネットワーク環境整備については、業務委託入札・契約を経て設置工事が3月完了予定となっています。また、端末整備については、長崎県行政振興協議会が共同調達を行い、7月中旬に